

# 関西大学幼稚園

## 2016 年度学校評価報告書



2017 年 3 月

# 目次

2016年度 関西大学幼稚園 学校評価（自己点検・評価）分析	
1 本園の概要	1
2 今年度の教育活動状況	1
3 評価の実施にあたって	2
4 評価の分析	
(1) 食育について	3
(2) 年間行事について	7
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	22
6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書	23
7 アンケート結果	24

## 2016年度 関西大学幼稚園 学校評価報告書

関西大学幼稚園  
自己点検・評価委員会

### 1 本園の概要

関西大学幼稚園は、教育基本法を十分に尊重し、すべての園児が各自の人間性や能力を全面的に開花させていくことを目的として1951年に開設され、創立66年目を迎えている。

本園は、「自主性の陶冶」「協同性の涵養」「生きる力の育成」の3本の柱を教育の基本方針とし、様々な環境や境遇に育った子どもたちが、幼稚園の新しい環境と集団生活に適応できるように教育活動を実践している。「いきいきと自己表現ができ、積極的にいろいろなことに取り組むことのできる子どもにすること」、「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」、「困難に出会った時、前向きに解決していける豊かな感性と生活の知恵をもつ子どもにすること」を子どもの育ちのなかで見逃すことなく働きかけながら、子どもが子どもらしい感性を発揮し、心豊かに人間らしく育つことを、時代を越えて守っていかなければならない、と考えている。

また、本園は自然環境に恵まれ、園舎前面に運動場があり、園庭には楠、桜、いちょう、せんだん、くぬぎ、かえで、つつじ、つばき、きんもくせいのほか、裏山には松、かし等の樹木に囲まれている。また、ざくろ、みかん、柿、ジューンベリー、ブルーベリー、木イチゴ等の実のなる木や草花の存在は、子どもたちに四季折々の自然を身近に感じさせる楽しみとなっており、情操教育の一助となっている。

このような環境の中で、教育学や心理学及びその他の諸科学の進歩に即しながら、子どもたちの感覚を豊かにすることに重点を置きつつ、認識、情操、能力、健全な心と体の発達をはかるための保育を開設以来積み重ねている。

一方、本園を運営する学校法人関西大学は、「長期ビジョンKU Vision2008-2017 具現化のための長期行動計画」を踏まえて、その実現のために、中期行動計画を策定し実施している。本園においても、この枠組みの中で基本方針と中期行動計画の連関を意識しながら教育活動を実践している。

### 2 今年度の教育活動状況

本年度の中期行動計画で掲げた「幼稚園における関西大学総合学園としての連携活動について」に関しては、関西大学大学院心理学研究科の「児童臨床心理学実習」の一環として本園で短期実習を実施することが定着している。また、関西大学国際部と連携し、普段の保育時間内に外国人留学生を招き園児との交流を深める取組も定着しており、今年度は

5月から2月の間に計31回の機会を持ち、延べ65名の外国人留学生が参加している。外国の言葉を耳にし、一緒に遊び、昼食を共にすることですぐに打ち解け、機会を重ねることで園児から留学生の国の言葉で挨拶をする等、園児の外国への興味と関心が自然と深まっている。更に今年度は、「芸術教育」に着目し、芸術を身近に体感することを目的とした「楽しいつどい」の取組を実施した。集いは、関西大学交響楽団やグリークラブ、ギタークラブ等の協力を得て、大変有意義なものとなった。

「関西大学初等部との連携活動」においては、初等部の1年生の教員と懇談会を持った。懇談会では、本園から内部進学した児童の現状報告を受け、今後の保育内容等に活用できるものとなった。また、2月の公開授業に全教員で参加し、初等部の特色ある教育法への理解を深めることができています。

「子育て支援施策の推進」においては、「希望（のぞみ）クラス」と並行して実施している預かり保育「なないろ」を、午前保育後（水曜日）の「なないろ」実施に加え、今年度は長期休暇中（夏休み13日間）においても「なないろ」を実施したところ、予想を上回る参加人数となった。

### 3 評価の実施にあたって

本園の自己点検・評価（学校評価）は、複数の項目に分類し、3年かけて一巡する取組にすることを、学校法人関西大学自己点検・評価委員会（併設校部門委員会）において承認されている。これを受けて、本園では下表のように評価活動の年次計画をまとめた。

2015年度	2016年度	2017年度
教育方針	食育	保護者への働きかけ
教育内容	年間行事	小学校（初等部）との関連 子育て支援 施設・設備
安全教育		
園児募集		

また、2016年度の本園における主な自己点検・評価活動は以下のとおりである。

日付	議題	内容
6月 3日(金)	今年度の評価について	・評価内容の確認
6月 30日(木)	年間行事アンケートについて	・アンケート項目の検討
7月 1日(金)	年間行事アンケートについて	・アンケート項目の作成
7月 11日(月)	年少・年中組年間行事アンケート実施	・締め切り7月20日(水)
7月 12日(火) 7月 14日(木)	年長組クラス懇談会にてアンケート実施	・年間行事アンケート

7月25日(月)	今年度の学校評価について	・アンケート集計 ・担当を決める
7月25日(月)	2学期に実施するアンケートについて	・アンケートの作成
11月7日(月) 11月8日(火)	年中組クラス懇談会にてアンケート実施	・年間行事アンケート
11月14日(月) 11月15日(火) 11月17日(木)	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	・年間行事アンケート
11月30日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート実施	・年間行事アンケート
12月9日(金)	食育のアンケートについて	・アンケート用紙準備
12月12日(月)	年間行事、食育のアンケート実施	・締め切り12月20日(火)
12月21日(水)	年間行事、食育保護者用アンケートの集計	
2月3日(金)	教員用アンケートについて	・教員用アンケート内容の 検討・作成
2月10日(金)	教員用アンケートの実施	
2月15日(水)	教員用アンケート集計・分析	
3月6日(月) 3月7日(火)	年中組クラス懇談会にてアンケート実施	・年間行事アンケート
3月7日(火)	年長組年間行事アンケート実施	・締め切り3月14日(火)
3月8日(水)	年少組クラス懇談会にてアンケート実施	・年間行事アンケート
3月15日(水)	学校関係者評価委員会開催	

本園の学校評価活動の特徴として、2010年度から保護者にも協力を仰ぎ、保護者と教員との間で本園の教育についての意識が共有できているかを検証している。本年度も保護者へのアンケート調査をクラス懇談会直後に実施することで、保護者の意見を記述してもらいやすいようにし、回収率の平均は97.3%であった。

また、学校評価活動の取組が昨年度より3巡目となっており、「年間行事」については2014年度からアンケート調査を実施し、アンケート結果の蓄積を行った。保護者の記憶が鮮明な時期を逃さないために学期ごとにアンケートを実施し、その結果を次年度に活かすようにしている。

#### 4 評価の分析

##### (1) 食育について

本園では、幼稚園教育要領「第二章 健康」の内容の取扱いに「健康な心と体を育てるためには食育を通じた望ましい食習慣の形成が大切なことを踏まえ、幼児の食生活の実情に配慮し、和やかな雰囲気の中で教師や幼児と食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な

食べ物への興味や関心を持ったりするなどし、進んで食べようとする気持ちが育つようにすること。」と記されていることを受け、「食育基本法」施行以来、食育の取組に力を注いでいる。

今年度の学校評価では、食育の取組をお弁当、給食、おやつ、季節の実に関することといった項目に分類して見直しを行った。本園の食育では「食」に感謝する心を育むことを大切にしている。その所以は、作物を育てる人や食事を作る人への感謝の気持ち、園庭の実のなる木等の自然の恵みに感謝する気持ちが子ども自ら進んで食べようとする気持ちを育てることにつながると考えるからである。

## ア お弁当

### 【現状の説明】

本園の昼食は、給食が週3回（月・火・金）、お弁当が週1回（木）である。お弁当は園児にとって親の愛情がこもった物であり、慣れ親しんでいる家庭の味で安心して食べることができる。そして、親が作ってくれたという嬉しい気持ちが喜んで食べることに繋がっていくと考えている。年少児にとっては、家庭とは異なった環境の中での食事となるため、教員は園児が食事に集中できるよう、保護者には飾りを控えることやシンプルなおかずにしてもらうこと、子どもが全部食べられたことが嬉しいと感じられるよう食べきれる量にすること等、配慮してもらえよう伝えている。併せて、食べやすいおにぎりにすること等の工夫も伝えている。また、クラスの友だちと楽しく食べる雰囲気の中で、教員は、椅子をテーブルに寄せて座ることや、よく噛んで食べること等の食事のマナーを知らせている。また、作ってくれた人や食べ物に対する感謝の気持ちを持てるように働きかけている。

### 【点検・評価と今後の取組】

2016年度の保護者アンケート調査によると、98.5%※の子どもがお弁当を楽しみにしている。また、98.0%の保護者がお弁当作りで栄養のバランスや色どり等を考え、子どもがお弁当を喜んで食べることを想像しながら作っていることがわかった。お弁当の内容については、いわゆるキャラ弁のようなものではなく、昔ながらの煮物や緑の野菜等が多く入っていることから、本園のお弁当に対する考え方が保護者にきちんと伝わっていることがわかる。子どもはお弁当のふたを開けると、友だちと一緒に楽しく嬉しそうに食べている。好きな物や自分の口に合った物を入れてもらっているお弁当は、食べやすく、食事の進み具合が早くなるため、子どもにとっては給食に比べると負担にならず、楽しみな時間になっている。保護者が子どものことを考えて一生懸命作っていることから、お弁当への意識が高いことが伺える。クラス懇談会における話題として取り上げる等、今後も引き続きお弁当に対して理解が深まるよう働きかけていく。

---

※ 肯定評価として、アンケートにおける回答A・Bの合計値で算出している。以下、特に該当の選択肢を明記していない場合は同様の扱いとする。

## イ 給食

### 【現状の説明】

本園の給食は関西大学生生活協同組合飲食事業部と連携し、作りたてで温かいものを提供している。栄養バランスはもちろんのこと、調理方法を工夫することで園児が様々な食材を口にしたり、旬の食材を取り入れることで季節感を味わうことを大事にしている。また、配膳形式を取り入れており、教員が園児一人ひとりの食べる量に合わせてお茶碗やお皿に盛りつけている。調理方法や献立等については栄養士と話し合う機会を設け、野菜をたくさん摂れるように具だくさんのみそ汁にしたり、筑前煮やひじきなどの煮物を取り入れ、園児が食べやすいように工夫し、提供している。園と栄養士との「連絡ノート」を活用し、日々の教員からの意見や要望、園児の反応を伝え意思疎通を図るようにしている。新しい献立の提案があった時には、教員で試食検討したうえで提供するようにしている。

給食時には、お茶碗を持って食べることやその持ち方、ご飯粒を残さず食べること、食器を自分で片づけること等、食事のマナーの指導にも力を入れている。偏食、少食、食物アレルギーのある園児には個別に対応し、状態を把握するようにしている。

少しでもより良い給食を提供したいとの想いで検討し、改善を重ねている。しかし現状としては、無添加・無農薬といった理想的な給食を提供できていないわけではないので希望制としている。

保護者には2年に1度「給食試食会」を開き、園児と同じ給食を食べる機会を設けている。また、2011年度から食育だより「いただきます」(年6回)を発行し、食に関する園での取組や昔から伝わる行事食、旬の食事等、子どもの食生活について理解を深められるようにしている。

### 【点検・評価と今後の取組】

前回「食育」を点検・評価項目としていた2013年度の保護者アンケートでは、92.1%の園児が給食を楽しみにしているという結果であった。2016年度においても同設問に対する結果は94.9%となっており、以前にも増して楽しみにしていることがわかる。献立や調理方法の工夫だけでなく、家庭では口にしないおかずであっても、友だちと一緒に食べることで食べてみようという気持ちになったり、食べてみたらおいしかったという経験をする中で食に広がりを持つようになっていたりしていることから、これからも給食を通じて園児が食に楽しみを見出せる働きかけを積極的に行っていく。また、園児への働きかけと共に、保護者に対してもクラス懇談会や食育だより等を通じて、これからも食生活の大切さを伝えていくこととする。

## ウ おやつ

### 【現状の説明】

おやつといっても市販のものではなく、年長児が作る手作りのクッキーやスイカ、お月見団子、焼き芋、お餅、南瓜、ゆず茶等、季節や行事を意識したものをおやつとし、その材料は自然食品を扱う店で添加物の少ない材料を購入し、使用している。年間を通して計

画している「おやつの日」の取組においては、「みんなで食べる楽しさ」「作ることの喜び」「作ってくれる人への感謝の気持ち」「食べることの大切さ」「素朴なものを味わうことの大切さ」等について伝え、日本の文化や風習にも興味を持たせるようにしている。家庭でも季節や行事に興味や関心を持ち、日々の暮らしの中でそれらを意識したおやつを楽しめるよう、保護者には園だより、食育だより、学年だより等を通じて伝えている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

本園では季節や行事を意識したものをおやつとしており、園児はクラスの友だちとみんなと一緒に食べる「おやつの日」を楽しみにしている。保護者アンケート調査において「お子さんは幼稚園でおやつを食べること、あるいは作ることを楽しみにしていますか。」という設問に対して「楽しみにしている」「ほぼ楽しみにしている」との回答が99.9%と、ほぼ全員の園児がおやつを食べること、作ることを楽しみにしていることがわかる。年長児はおやつを作る喜びや楽しさを体験し、年少・年中児に届ける嬉しさを重ねていく中で、年長児であることの自信と充実感を確かなものとしている。また、おやつを実際に食べることで、園児は行事の意味や風習をより身近に感じることができている。「幼稚園ではクッキーの他にもお月見団子や冬至の南瓜など季節や行事を意識したおやつにしていますが、ご家庭ではおやつの内容を季節や行事を意識して与えることがありますか」という設問に対して「意識している」との回答が2013年度12.8%、2016年度31.4%、「まあまあ意識している」との回答が2013年度48.0%、2016年度56.2%であり、家庭での意識が高まっていることがわかる。一方で、記述回答において、「そこまで意識する時間がない。」「園で食べさせてもらっているため、家庭ではあまり意識していない。」「おやつではないが、季節ごとのフルーツを食べている。」等の回答があったため、保護者により関心を持ってもらえるよう、食育だよりの内容に工夫を加え、働きかけていくことにする。

### エ 季節の実りに関すること

#### 【現状の説明】

自然豊かな園内にはジューンベリー、ブルーベリー、山もも、ざくろ、うめ、冬みかん、柿、イチヨウ（ぎんなん）等の実のなる木があり、四季折々に花が咲き、実がなっていく。園児は、その様子を観察して収穫し、食べることを楽しみにしている。実がなると年長児が収穫し、全園児で分け合って食べている。2013年度学校評価の結果を受けて、2014年度から、教員は園内の散策時に園児がより実のなる木に興味や関心が持てるように目的意識を持ち、花が咲いたことや実が色づいていく等の変化に気づけるよう働きかけるようになってきた。

年長組の取組として、トマトとさつまいもを栽培している。野菜の成長を観察することを通じて育てることや収穫することの喜びを、食べることを通じて食物への意識を育てている。年少・年中児には教員が年長児の活動を伝え、野菜が育っていく過程を見せることで興味や関心を持たせ、変化に気づくことができるようにしている。収穫したトマトは年長児が年少・年中児に届け、さつまいもは秋に掘り出し、園庭で焼き芋にして全園児で食

べている。

本園では、在園児の保護者やその祖父母、また卒園児の保護者から四季折々の野菜や果物を頂戴することが非常に多い。いただきものは、全クラスや学年等で分けあって頂いている。園児たちにと届けてくださる気持ちは大変有難く、教員は届けてくださった方のことやその気持ちを園児に伝え、感謝の気持ちを持って頂けるよう働きかけている。いただきものは、籠に入れ園児たちが興味を持てるように見える所に置き、調理が必要なもの以外は衛生面に十分注意したうえで、教員が園児の前で皮を剥いたり切り分けることで、切った時の音や匂い等に関心を持たせるようにしている。冬には無農薬のみかんをたくさん頂戴することがあり、頂いた後は皮を天日干しにし、外遊びの後等に冷たくなった手をみかん湯で温め、匂いを楽しんでいる。近年食物アレルギーを持つ園児が増えているので、未摂取物の有無については十分に注意している。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「お子さんから幼稚園にある実のなる木の話あるいはそれを食べたことの話聞いたことがありますか。」という設問に対して「聞いたことがある」との回答が2013年度は68.2%、2016年度は82.0%となっている。これは2013年度学校評価を受け、園内の散策でより興味、関心を持てるように工夫して働きかけた結果であると言える。

いただきものに関しては、衛生面には十分注意しているが、食物アレルギーを持つ子どもが増えている現状を踏まえて、今後については研究会で検討する場を持つ。

## (2) 年間行事について

本園での年間行事の位置づけは、行事を通した集団内の「個の育ち」を見失うことなく、成長に働きかける適切な指導を実践する、としており、重要な教育活動のひとつである。本園においては、「行事」を実施するうえで個々の「行事」をその場限りの取組とせず、すべての行事を通して子どもの育ちを豊かにすることを目的として、全教員が意識を共有して取り組んでいる。

今年度の自己点検・評価においては、年間行事を「子どもの成長に関する行事」、「日本の伝統行事」、「クラス作りに関する行事」、「季節を感じる取組」の4項目に分けて見直し、2014年度、2015年度、2016年度に実施した保護者アンケートの結果をもとに分析を行った。

### ア 子どもの成長に関する行事について

行事を通して、園児が一年の節目を感じたり、自分がひとつ大きくなったことを感じ、喜べるよう働きかけている。また、教員は保護者にも行事を通して子どもの成長を感じてもらえる機会となるよう取り組んでいる。

## (ア) 進級式

### 【現状の説明】

進級式は保護者にも出席してもらい、園児と共に進級を喜び、我が子の成長を感じてもらえるよう心掛けています。教員は、子どもの成長や新しいことに向かっていく自立の意味が込められている「兄と妹」と「赤ずきん」の人形劇を隔年で行い、園児と保護者に見せている。

2013年度から2015年度に実施したアンケート調査の結果を踏まえて、進級式後の保育室での過ごし方を検討し、保育室では保護者も交えて一緒に1年の成長を振り返り、園児が話を聞く姿勢や歌う姿を通して、保護者に我が子の成長や進級した喜びを感じてもらえるようにした。年中児は担任が変わりクラスの集団が大きくなるため、新しい環境に対する不安や戸惑いを感じさせないように、教員が一人ひとりの様子をしっかりと受け止め、安心して過ごせるよう配慮している。年長児においては、憧れの年長組になった気持ちを大切に育み、自覚を持てるよう働きかけている。

### 【点検・評価と今後の取組】

進級式終了後、保護者に保育室に入ってもらい、実際に園児の姿を目にすることで1年の成長を感じてもらえるようにした。また、年中児の保護者には、保育室や担任が変わり、集団が大きくなることで感じる不安や戸惑いといった園児の気持ちに共感してもらえるようになった。

年長児の保護者には、園児の発言を聞き、表情を見てもらうことで、憧れの年長組になった園児の楽しみな気持ちを感じてもらえるようにした。保護者アンケートによると「お子さんの成長を感じることができましたか。」という設問に対して「感じられた」との回答が2014年度は62.6%、2015年度は60.0%、2016年度は75.6%となっている。2014年度から式終了後の保育室での過ごし方を再検討した結果の現れだと受けとめている。今後も、新年度の始まりは保育室や担任が変わる等の環境の変化があるため、教員は園児の不安な気持ちを受けとめるだけでなく、保護者の気持ちにも寄り添い、園児の成長を感じてもらえるよう努めていく。

## (イ) 入園式について

### 【現状の説明】

初めての環境で園児が不安な気持ちにならないよう親子で手をつないでホールへ移動し、親子一緒に座って式を行っている。年長児による新入園児への呼びかけや、歌で入園を祝っている。式後の保育室では、教員がテーブル人形劇をお祝いの気持ちを込めて行い、年長児が手作りのペンダントを新入園児一人ひとりにプレゼントしている。教員は、年中・年長児には入園式に参加することで新入園児を迎えることを実感させ、自分がしてもらった経験を思い出し、優しい気持ちで新入園児に関われるよう働きかけている。

生まれて初めて経験する雰囲気戸惑う新入園児の姿は当たり前のことであるが、親と一緒にありながら泣き止ませられなかったり、じっとさせられなかったりすることで、親

自身が入園する喜びより心配や不安が大きくなるようである。このような現状を踏まえて教員は親子が安心できる雰囲気作りや声掛けを心掛けている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「お子さんが入園する喜びを感じることができましたか。」という設問に対して「感じる事ができた」との回答が 2014 年度は 73.7%、2015 年度は 76.1%、2016 年度は 87.5%であった。この結果から、教員の保護者に対する働きかけが功を奏していることがわかる。毎年様々な親子の姿がある。教員は、その姿から保護者の不安や心配な気持ちを感じ取り、気持ちに寄り添った働きかけができるようこれからも努める。

#### (ウ) 健康診断

##### 【現状の説明】

園で行う健康診断で、病気が見つかるということがほとんどないという現状から、病気を見つけるという「検診」ではなく、園児の健康を確認する「健診」を保育の一環として行うという認識のもとに、2014 年度から、年中児も年長児と同様に保護者同伴はせず（同伴も可）、教員の指示に従って受診させることにしている。5月に内科と歯科の医師に来園してもらい、身長・体重の測定、問診、診察（内科・歯科）、尿検査、視力・聴力検査（年中・年長児のみ。年少児は6月中に各クラスで行う）を実施している。園児が自分の身体に関心を持ち、大きくなったことを喜べるひとつの機会となるよう働きかけている。年少児は不安感なく診てもらえるように、保護者同伴で受診している。教員は静かに順番を待ち受診することを指導し、健康診断後は「けんこうのきろく」に目を通し、園児の健康状態を把握している。また、再検査が必要な場合は保護者に知らせ、聴力・視力の結果は後日全員に知らせている。

##### 【点検・評価と今後の取組】

年中・年長児は、保護者の付添いがなくても教員の指示に従いスムーズに受診している。「健診」を保育の一部として行うという認識を深めることで、手洗い・うがい・歯磨き・食事・睡眠等、普段の生活習慣に話題を広げ、園児と健康な身体作りについて話し合うことができた。これまでも保護者には再検査が必要な場合は連絡していたが、結果の報告がない場合は更に受診を促し、結果を必ず園に報告してもらうよう働きかけ、「子どもの健康」を園と家庭とで共に把握するよう努める。

#### (エ) お別れ会

##### 【現状の説明】

卒園式の前日にホールで行い、年少・年中児が先に着席し、年長児の入場を拍手で迎えてお別れ会が始まる。年少・年中児は数日前から、これまで年長児に世話になったことを思い出し、感謝やお祝いの気持ちを年長児に伝えられるようクラスで話し合い、当日は歌や呼びかけを行っている。一方、年長児は年少・年中児に見せたい、伝えたいと思う年長児ならではの遊びや歌等を考え、披露している。また、教員からは新年度に向けて、お話

の中に未来への希望や喜びが込められている「花咲かじいさん」「三匹のぶた」「ももたろう」のいずれかの人形劇を見せている。会の終わりには、年中児が手作りのペンダントを年長児にプレゼントし、年長児は、拍手で見送られながら、年少・年中児・教員たちが作る花道を通して退場する。

#### 【点検・評価と今後の取組】

年長児のお別れ会での姿は、これまでの年長児の集大成である。年少・年中児の前で披露するその姿は、卒園を前にした年長児の自信と喜びが感じられる。それは、普段の園生活の積み重ねから培われたものであるため、教員は一日一日の保育を大切に考え、園児に向き合っていかなければならない。年長児の自信に満ちたその姿を、年少・年中児は大きくなることへの憧れを持って見ており、自身が一つ大きくなることを楽しみにしている。

今後も年少・年中児が年長児の姿に目を向け、憧れや感謝の気持ちが持てるよう、教員による適切な働きかけが必要である。そのために全教員で子どもに対する共通理解を深め、保育を進めていくよう努める。

#### (オ) 卒園式

##### 【現状の説明】

卒園式は、ホールで行っており、保護者が卒園児席を囲むような形で着席し、卒園児は自分たちで作った花のアーチをくぐり入場する。園長は一人ひとりに卒園証書を授与するとともに握手を交わし、卒園児はリボンで巻かれた卒園証書を高く掲げ、式場内をゆっくりと歩いて席に戻る。年少・年中児は式の後半に参加し、改まった雰囲気の中、卒園児の姿を間近に見て、お祝いの言葉や歌を歌うことで卒園を祝う気持ちと卒園児の姿に憧れの気持ちが持てるようにしている。卒園児は小学校1年生になることを楽しみに、これから新たな世界に希望を持って一歩踏み出す思いを歌で表現し、保護者の温かい拍手に送られて式を終える。ホールでの式終了後に年中児は年長児の保育室へ出向き、お祝いの花束を手渡ししてお祝いの気持ちを伝えている。

##### 【点検・評価と今後の取組】

約1時間にわたる式となるが、年長児は姿勢をただし、気持ちを集中して話を聞こうとする姿が見られる。その姿は堂々と自信に満ちてとても嬉しそうである。そのような年長児の姿は、卒園式の練習（3回程度）を重ねた結果ではなく、これまでの保育の積み重ねである。年少・年中児においては、大切なお祝いの式であることを理解し、年長児への感謝の気持ちを持って、お祝いに参加できている。教員は園生活のすべてがこの日に繋がることを意識して日々の保育にあたるよう努める。

#### (カ) 誕生日のお祝い

##### 【現状の説明】

本園では月ごとにまとめてお祝いをするのではなく、一人ひとりの生まれた日を大切に考え、誕生日当日（当日にできない場合はできるだけ近い日）にお祝いをしている。お祝いでは、誕生日児の保護者に来園してもらい、隣に座って、我が子の成長やみんなでお祝いする

囲気を感じてもらおう機会としている。学年によってお祝いの方法は異なるが、生まれた時の様子やその時の親の気持ちを、保護者自身あるいは担任を通じて聞くことにより祝福されて生まれてきたことを知り、元気に誕生日（当日）を迎えられたことへの感謝の気持ちを育めるようにしている。年中・年長児は誕生児へのプレゼント作りを通して誕生児への思いを表現し、作ったプレゼントは教員手作りの箱に入れてお祝いの場で歌や拍手と共に贈っている。年少児は、お祝いの時に歌を歌い拍手でお祝いの気持ちを伝えている。また、担任からは冠を、園長からは手作りの誕生日カードをお祝いの言葉と共に贈っている。教員は、園児に祝ってもらう喜びだけでなく、友だちの誕生日のお祝いを楽しみにする気持ちが持てるよう働きかけている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

お祝いを重ねていくことで自分の誕生日だけでなく、友だちの誕生日のお祝いを楽しみにする気持ちが持てるようになってきている。保護者に我が子の成長を感じ喜んでもらえるようなお祝いにするためには、お祝いの進め方や言葉掛け等の問題もさることながら、それまでのクラス作りや、更には教員自身の人としての内面の成長が問われる。そのため教員は、常にそのことを意識しながら保育することを会議等で確認している。

保護者アンケートによると、「一人ひとりの生まれた日を大切に考えお祝いをしています。みんなに祝福を受けたお祝いをしてもらっていると感じましたか。」という設問に対して、「感じた」との回答が2014年度は86.8%、2015年度は88.4%、2016年度は95.7%となっている。更に、「お子さんの成長を振り返る機会となりましたか。」という設問に対して「振り返る機会となった」との回答が2014年度は90.8%、2015年度は91.7%、2016年度は96.4%と年々上昇していることから、多くの保護者に満足してもらえていることがわかる。今後も教員間で確認し合いながら、一人ひとりの誕生日のお祝いを大事に積み重ねていくこととする。

### イ 日本の伝統行事について

日本にはいつまでも大切にしていきたい素敵な行事や風習がたくさんあり、一つひとつの行事には意味や由来がある。それらを子どもたちに伝え先人たちの知恵や風習に触れ、興味や関心を持たせるようにしている。行事を通して季節感や情緒感を味わえるようにし、目には見えないけれども信じることや周りへの感謝の気持ちが持てるようにしている。

#### (ア) 5月の節句について

##### 【現状の説明】

2011年度の教員へのアンケート結果から、本行事は新年度が始まって間もない時期に行うため、教員自身が取組への意識が薄いことがわかった。それを受けて話し合いを持ち、翌年には年間行事の一つとしてしっかり位置づけた取組ができるように心がけてきた。年長児はかぶとを、年中児は鯉のぼりを個人制作し持ち帰ることで、家庭でも端午の節句について話題提供ができ、興味や関心が広がればと考えて取り組んでいる。保護者には園で

の取組を伝え、家庭においても端午の節句を子どもの健やかな成長を喜ぶ機会にしてもらえるように働きかけた。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「幼稚園では子どもの健やかな成長を願い端午の節句の話をし、保育室に菖蒲を飾り、こいのぼりやかぶとを制作するなどの取組を行いました。ご存じでしたか。」という設問に対して「知っていた」との回答が2014年度は51.9%、2015年度は78.7%、2016年度は74.9%であった。端午の節句については各学年だよりで保護者に知らせているが、2015年度から下回っている結果を受け、よりわかりやすく伝えるための工夫を行う。また、「家庭で端午の節句を意識しましたか。」という設問に対して「意識して過ごしている」との回答が2014年度は38.7%、2015年度は54.3%、2016年度は56.0%であった。制作したものを持ち帰ったり、学年だよりで保護者に子どもの健やかな成長を喜ぶ機会となるように働きかけを行っていることが実を結んで、以前より保護者の意識が高まってはいるが、更に興味や関心がもてるよう今後もより一層働きかけていく。

#### (イ)七夕について

##### 【現状の説明】

七夕の由来は、絵本を通して園児にわかりやすく伝え、7月7日に向けての数日間で笹飾りや短冊を作り、七夕の日を楽しみにできるようにしている。笹飾りは各学年で子どもの発達段階に応じたものを制作させている。年少児にとっては入園してから初めての制作となるため、一斉に取り組ませず、少人数の園児を教員のそばに集めて制作させている。作った笹飾りは保育室に飾り、「七夕まつり」までに持ち帰るようにしている。また、ホールに飾る大きな笹には全園児で笹飾りをつけるが、その笹は年長児が大学構内の竹林から運んでいる。7月7日の「七夕まつり」の集会では、歌を歌い、コーラス部の保護者による歌を聞き、人形劇部の保護者による「たなばた」の人形劇を見て過ごしている。

##### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「幼稚園では七夕の話をし笹飾りを作り、七夕の集会を行いました。ご存じでしたか。」という設問に対して「知っていた」との回答が2014年度は76.8%、2015年度は92.5%、2016年度は92.7%となっている。このことから、園だよりや学年だよりに七夕について記載することで、多くの保護者に園での取組を理解してもらっていることがわかる。また、「ご家庭では星を見たり笹飾りを楽しむなど七夕を意識しましたか。」という設問に対し「意識した」との回答が2014年度は62.4%、2015年度は84.0%、2016年度は82.7%となっている。本年度は、2014年度より上回っているが、2015年度より少し下回っている結果となった。家庭でも笹飾りを楽しんでもらえるよう希望者に笹を提供している旨を周知する等、夏の夜空を見上げ、七夕を意識した過ごし方がよりできるように学年だよりに工夫して記載する等、研究会で検討する。

## (ウ) お月見について

### 【現状の説明】

十五夜は中秋の名月とも呼ばれ、一年で月が一番きれいに見える。十五夜に月を眺め、米や野菜等の農作物が収穫できたことを感謝し、お供え物をしてお月見を行ってきた昔の風習を園児にわかりやすく伝えている。保育室にすすきや秋の花を飾り、月がきれいに見える季節であるため普段から月の話をして歌や手遊びを楽しみ、月の満ち欠けについて園児が月を身近に感じ、興味が持てるようにしている。十五夜の日には、年長児がお月見団子を作り年少・年中児を招待し団子をふるまっている。教員は年長児が年少・年中児のお世話をし、仕事に責任を持って取り組めるように関わり、年少・年中児には、年長児がお世話してくれる姿から優しさや親しみを感じられるように働きかけている。また、年少・年中児はお団子をいただいた後クラスに戻り、粘土で団子を作りお供えすることでお月見に関心を持たせている。

### 【点検・評価と今後の取組】

十五夜の日には、年長児の部屋に年少・年中児や全教職員が招待されて、年長児が作ったお月見団子をいただいた。年長児はお団子の準備ができると年少児を迎えに行き、手を繋いで保育室まで連れてくる。年少・年中児がお部屋に入ると、お盆にお団子やお茶を乗せて運んだり、お団子にきな粉をかけたり、それぞれが自分の仕事を理解し楽しんでお世話する姿が見られた。自分たちが作ったお団子を年少・年中児が喜んで食べる姿を見て、年長児も喜びを感じ、しっかりとお世話できた経験が自信に繋がっている。

保護者アンケート調査によると、「家庭でお月見を意識して過ごしましたか。」という設問に対する肯定評価の回答が2014年度は90.8%、2015年度は96.4%、2016年度は93.0%という結果になっており、2014年度から比べると上昇している。その年の天候によって月をあまり眺めることができない年もあるが、家庭でもお月見について話題にし、楽しめていることがわかった。日頃の保育の中で月の話や歌、手遊びをして楽しんでいることや、お団子を食べたことをクラス懇談会や園だより、食育だより等で保護者に知らせている結果であると言える。日頃から月の満ち欠けに興味や関心を持たせると共に、昔からの風習を今後も伝えていく。

## (エ) お餅つきについて

### 【現状の説明】

地域や家庭で行われることが少なくなっているお餅つきを、12月の始めに園庭で行っている。火を焚き、せいろで餅米を蒸し、石臼と杵で餅つきをする古くからの風習を知るとは、園児にとって日頃味わえない経験なので楽しく取り組めるように考えている。年長児は子ども用の杵でお餅つきを体験し、年少・年中児は年長児や保護者（お父さん）がつく様子を見てお餅になる様子を知る。つきたてのお餅は温かいうちに園庭のベンチに座って食べている（天候の状況次第では室内で食べることがある）。前日のもち米洗いから、当日の準備、つき手、後片付けに至るまで役員（保護者）の協力を得て行っている。教員は、

珍しい用具のことや正月を迎えるために昔からお餅つきをしていたことを園児に知らせ、興味や関心が持てるようにしている。また、お餅つきが多く協力者によって楽しむことが出来ていることを園児に伝え、感謝の気持ちを持てるように働きかけている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

お手伝いのお父さんや年長児が餅つきをする姿を間近で見て、声をかけながらみんなで楽しむことができた。年長児においては自分でつけた喜びが表情に表れ、楽しんでいる姿が見られた。年中児は年長児がするお餅つきを見て、来年は自分たちがすることを感じ、楽しみにする言葉が聞かれた。お餅つきを初めて見る年少児は薪に火を付けせいろでお米を蒸すところや、つきたてのお餅から湯気が出ているところ等を興味深く見ており、お餅つきを見た後に自分たちもつく真似をして遊ぶ姿から、楽しんでいる様子が伺えた。前日の雨で園庭の足元が悪かったので、お餅は室内で食べることにした。お餅が伸びる様子や感触を楽しんだり、友だちと一緒に食べることで楽しさを共有し合うことができた。

今年は餅を介してのノロウイルスによる感染性胃腸炎が話題となり、中止にする団体もあったようである。地域や家庭で行われることが少なくなっているお餅つきを、園で体験できることは園児にとって貴重な経験であると考え。園児には日頃から手洗い、うがいの指導を積み重ねており、手伝ってもらふ役員にも十分衛生面に配慮して頂き、来年度も実施する方向で考えていく。

#### (オ) 冬のつどいについて

##### 【現状の説明】

12月に入ると冬至に向けて、園で収穫したぎんなん、ホットプレートで焼いたなんきんやゆず茶を飲食し、身体を温める作用がある食べ物が身体の中から元気にしてくれることを知らせ、興味や関心を持てるようにしている。年度によっては園内で収穫したみかんや保護者から頂戴したみかんの皮を天日干しにして「みかん湯」を作り、寒さの中で温かさを体験し、自然への畏敬の念や先人の知恵を伝えられるようにしている。

冬のつどいの集会では、冬至を知り太陽への感謝の気持ちや、これから厳しくなっていく冬を元気に過ごせるようにとの願いを持って行い、太陽の偉大さが語り継がれている「天の岩戸」を影絵にして見せている。年少・年中児は集会の後、年長児が作ったなんきん入りクッキーを食べ、その後、年少児は園内を散歩し、落葉樹や常緑樹があることを身近な木から知る。年中児は集団遊びを楽しみ、戸外を散歩することで、冬の寒さや太陽の温かさが感じられるようにしている。年長児はおやつと水筒を持ち大学構内へ散歩に出かけ、おやつのクッキーを頂いた後、寒さの中でも広場で元気に遊び楽しむ。寒い中でも体を動かすことで体が温まることを体感する。

##### 【点検・評価と今後の取組】

幼児があまり口にしないぎんなんやゆず茶を頂くことで、中には躊躇する園児の姿があるが、無理強いさせるのではなく、寒い冬を元気に過ごすための昔の人の知恵やその中で楽しみを見つける風習を知らせることを大事にしている。

保護者アンケート調査によると、「冬のつどいに向けて冬至の話をし、冬の寒さや太陽の暖かさを体感しています。身体を温める食べ物の話をし、ぎんなん、なんきん、ゆず茶をいただきます。また、冬のつどいの集会を行う予定です。ご存じですか。」という設問に対して、「知っている」との回答が2014年度は64.0%、2015年度は79.8%、2016年度は79.4%という結果になっている。この結果から、クラス懇談会や園だより、食育だより等で知らせることで保護者に伝わり、世間一般的にはあまり聞きなれない冬のつどいの行事が本園の保護者に定着してきていることがわかる。

#### (カ) 豆まきについて

##### 【現状の説明】

教員は園児の健やかな成長を願い、邪気や災厄を祓うために行う日本の伝統行事を理解した上で、子どもの発達段階に応じて「節分」の話をし、「豆まき」の意味を園児に伝えている。邪気を祓う厄払いという意味を園児に伝える方法として鬼を登場させているが、それについては毎年話し合いを持っている。本園の鬼は、幼稚園の中の悪いことや人間の心の中にある良くないものを持って行って、子どもの心を強くしてくれるものとして出させたいと考えている。鬼が各保育室を周り園児に姿を見せた後に、学年ごとに園庭に出て豆まきをする。鬼に向かって豆を投げるのではなく、豆を“撒く”ということ子どもに伝え、豆まきを行う。その後、健康を願って年の数に一つ加えた豆を食べている。

また、各学年で園児の発達段階に見合った鬼の面を制作し家庭に持ち帰り、家庭でも家族の健康を願い節分を過ごせるようにしている。

##### 【点検・評価と今後の取組】

鬼が金棒を突きながら保育室の前にやって来る緊迫感は、園児に良い意味で緊張感を与えていることが園児の姿から感じられた。鬼に幼稚園の中の悪いことや心の中の弱い物を持って行ってもらう話を子どもにすることで、幼稚園に来る鬼は悪いものではないと感じていることは、子どもの発言からわかる。豆まきについては、鬼に豆を投げることをさせず、園児の心を強くするものとして豆まきの方法を再考し、豆を撒くという本来の意味が子どもに浸透するよう教員間で確かめ合った。保護者にも豆を撒くという本来の意味を理解して頂けるよう、学年だよりに記載する。

#### (キ) ひなまつりについて

##### 【現状の説明】

ひな祭りは女の子だけのお祭りではなく、子どもの健やかな成長を願う行事として行っている。2月の中旬にホールに飾っている雛人形を見に行き、お雛様に親しみ、昔の生活を想像する。その後、各学年で子どもの成長に見合ったお雛様の制作をし、桃の花と一緒に保育室に飾っている。教員は、雛人形の始まりである「人型」や「流し雛」等の話を伝え、昔から大人は子どもの成長を願っていることを園児に伝えている。

3月3日のひなまつりの集会では、園児は歌を歌い、保護者の人形劇部とコーラス部による出し物を見て楽しいひとときを過ごす。集会後は年長児手作りのクッキーをおやつに

している。

#### 【点検・評価と今後の取組】

ひなまつりの集会では、園児がしっかりと話を聞いたり、ピアノに合わせてみんなで歌を歌ったりする姿からも園児の一年の成長の姿が見られる。お雛様の制作では、年少・年中児は折り紙で年長児は染紙で着物を作り、お雛様の制作を楽しむことができた。保護者アンケート調査によると、2014年度は88.1%、2015年度は95.8%、2016年度は95.5%の保護者が家庭でも桃の節句を意識して過ごしていることがわかる。今後も子どもの健やかな成長を願う行事として、園児にも保護者にも働きかけていく。

### ウ クラス作りに関する行事について

「運動月間」、「休日参観」、「お店屋さんごっこ」の3項目は、各々、取組のねらいを持っているが、常に個々の育ちとクラス作り（仲間とのつながり）を意識して園児に働きかけ、友だちと力を合わせる充実感を持ちながら、やり遂げた達成感を味わえるようにと考えている。「みんなで一緒にやって楽しかった」、「頑張って良かった」という思いが、自信となり、更なる意欲につながっている取組である。

#### (ア) 運動月間について

##### 【現状の説明】

本園では戸外遊びに適した10月を運動月間とし、毎日「運動会ごっこ」と称して体育遊びや集団遊びを楽しんでいる。園児は「運動会ごっこ」を通して体を動かす心地よさを体感すると共に、友だちと一緒に力いっぱい頑張ったり、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わえるようにしている。年少組については戸外で教員や友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにし、年中組では運動遊びや集団遊びを楽しむ中で友だちに目を向け仲間意識を育ていけるようにしている。年長組では個々の力を出し切って頑張る心地よさや友だちと協力して競技に取り組む体験を通して、これまで育んできた仲間意識を更に深めていけるようにしている。

10月中頃に年少・年中組は1日、年長組は2日間の参観日（運動会）を設け、保護者に園児の姿や成長を感じてもらえるようにしている。参観日のプログラムは、園児が保護者と一緒に楽しめる種目を加え、大人も子どもも体を動かし楽しいひと時を過ごせるようにしている。園児にとって参観日は嬉しい特別な日であるが、この日のために練習を重ね発表の場とするのではなく、あくまでも普段の保育の延長線上にある「運動会ごっこ」の一日を参観してもらうことを目的としている。教員は普段の園児の遊びや興味のあるところに焦点を当てたプログラムを考え、園生活からかけ離れたものにならないように考慮している。

参観日（運動会）の終盤には、保護者が手作りしたペンダントを園児にプレゼントし、園児と保護者が楽しかった運動会の喜びを分かち合えるひと時を持っている。

### 【点検・評価と今後の取組】

今年度も暑さの和らぐ9月下旬頃から体育的な遊びを行い、皆で一緒に体を動かして楽しく遊ぶ経験を積み重ねた。運動月間において年長組ではこれまでに経験した競技はもちろんのこと、年長児の成長段階に即した競技を取り入れ、個々の力を伸ばし、ルールを守って友だちと協力して楽しむことで充実感を味わい、自信と更なる意欲につながるよう働きかけた。その結果、運動月間にとどまらずその後約1か月、クラスの枠を超えて仲間を誘い自主的にリレーや牛乳パックを利用したハードルを楽しむ姿が見られた。年中組においては、友だちと一緒に楽しく体を動かした経験が仲間意識を育み、普段の遊びの中に鬼ごっこやへびじゃんけんなどルールを守って楽しむ姿が見られた。年少組はかけっこで一生懸命走ることを楽しむだけではなく、友だちの走っている姿を見て応援したり、転んだ友だちを心配したり、友だちと一緒に競技をすることで楽しい時間を共有した。これらはクラス集団において仲間意識につながるものと考えている。

次に保護者の参観日（運動会）のプログラムについてであるが、保護者アンケートによると「プログラムは楽しめる内容でしたか。」という設問に対して「楽しめた」との回答が2014年度は78.0%、2015年度は91.3%、2016年度は93.4%となっている。更に、「親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか」という設問に対して「楽しめた」との回答が2014年度は81.3%、2015年度は94.4%、2016年度は95.5%となっている。参観日（運動会）がこの日のために練習を積み重ねた発表の場ではなく、大人も子どもも一緒に楽しめる種目を、毎年検討工夫してきた結果であると言える。また、「運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。」という設問に対して「感じられた」との回答が2014年度は83.0%、2015年度は83.6%、2016年度は88.9%となっている。学年ごとに子どもの成長発達段階に即した競技内容を検討し取り入れてきたことに加え、クラス懇談会や園だより、学年だよりでも保護者に運動月間に対する取組を伝えてきたことが大きいと考える。今後も保護者の理解の下、園児と保護者が一緒に楽しいひと時を過ごす中で、子どもの成長を感じてもらえるように努力したい。

#### （イ）休日参観について

##### 【現状の説明】

普段の登園日に足を運べない保護者のために休日参観を設け、親子で過ごす時間を持ち、普段の園児の園生活に思いを馳せてもらう機会にしている。

初めての園生活を送っている年少児の保護者には、参観前半はホールにおいて4月から休日参観日までの園生活のスライドを見ながら、子どもへの関わり方や子育てについて園長の話聞いてもらい、後半は、各保育室で親子一緒に楽しめる時間を持つようにしている。

年中・年長組では登園から降園まで親子一緒に各保育室で過ごしている。年中組では保護者に聞いてもらう歌を何曲かクラスで相談し、園児が歌いたい歌を決めて保護者に聞いてもらっている。その後親子で一緒に遊べるものを作り、出来上がったものを親子で楽し

む時間を持っている。

年長組では4月からの年長児としての様々な活動、遊びなどの経験から園児が取り組みたい出し物（あやとり、折り紙、わらべ歌遊び、歌や手遊び等）を決める。年長児は子ども同士で相談しながら必要なものを準備し、当日の発表に向けて自主的に稽古を進めていけるように関わっている。当日、年長児の保護者は保育室後ろ半分にお客様として座ってもらい、我が子の成長を感じてもらう機会にしている。年長組の参観は2012年度よりこのような取組にし、教員は個々の園児への働きかけと共に、一緒に稽古する友だちの姿を認め、クラスの仲間としてのつながりを深めていけるように関わっている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

年少・年中組では、親子で一緒に作ったり遊んだりすることで楽しい時間を共有することができた。年長児は自分で取り組みたい出し物を決めて自主的に稽古してきたものを披露したが、緊張の中にも見てもらうことへの喜びが感じられる姿であった。やり遂げた達成感や自信に、そして更なる意欲につながるものになった。

保護者アンケートによると「休日参観は楽しめる内容でしたか。」という設問に対して「楽しめた」との回答が2014年度83.6%、2015年度85.4%、2016年度90.5%となっている。この結果から、休日参観に対する取組について毎年検討を重ねてきたことで、保護者にとっても園児にとってもより充実したひと時が過ごせる参観内容になっていると言える。これからの検討を重ね、わずかな時間の中に親子で園生活を経験できる場としたい。

#### (ウ) おみせやさんごっこ（年長児）について

##### 【現状の説明】

お店屋さんごっこは年長組の取組として行い、12月上旬に年長児の保護者をごっこ遊びに招くという形で参観してもらっている。参観日の前後には、年少児や年中児を誘ったり、あるいは年長児同士が互いのお店でごっこ遊びを楽しんだりしている。取り組む過程において教員は、年長児が主体的にアイデアを出し、イメージ豊かに工夫して品物作りができるようにしている。更に友だちと話し合ってお店を決めたり、それぞれのお店での役割を相談する等、意欲的に取り組めるよう指導している。年少児や年中児を招いた時は、店主としての仕事はもとより、年長児として小さい子たちが戸惑うことなく楽しめるように声をかけたり、優しく接することができるよう指導している。年長児の保護者には、お店屋さんごっこに参加し、年長児とのやり取りや遊びを通して、子どもの世界を身近に感じてもらえるように事前のクラス懇談会で、取組の過程やごっこ遊びを楽しむ年長児の姿を具体的に伝えている。親子でごっこ遊びの楽しさを共有することで、保護者が幼児期の子どもへの理解を深める機会としている。

##### 【点検・評価と今後の取組】

年長児は、昨年（年中児の時）お店屋さん誘われて遊んだことをよく覚えていて、今年の年長児と同じようにお店を作りたいという気持ちが感じられた。取り組む過程において教員は、子どもたちが遊んで楽しかったという経験をもとに、昨年の模倣に終わるので

はなく自分たちのお店を作り上げていくために、一人ひとりの意見を大事にし、アイデアや工夫をクラスで共有できるようにした。その結果、年長児は主体的に常に話し合いの場を持ち、意見を出し合ってお店屋さんごっこに取り組む姿が見られた。

年少・年中児を誘い、ごっこ遊びをする年長児は、店主としての役割に徹するだけでなく、小さい子が楽しめるようにお世話もするという微笑ましいものであった。保護者アンケートによると「おみせやさんごっこに取り組むお子さんの姿に成長を感じられましたか。」という設問に対して2014年度は82.8%、2015年度は86.4%、2016年度は88.9%という結果であった。

それは、年長児のお店屋さんごっこに対する取組について、クラス懇談会や学年だよりで園児の姿を伝えることで、参観の保護者の視点が目の前の品物の出来栄ではなく、お店の店主として生き生きと活動する子どもの姿にあったからこそと感じている。これからも保護者と子どもの育ちへの理解を共有し、その成長を見守っていけるよう努力したい。

## エ 季節を感じる取組について

自然の移り変わりに目を向け、季節の違いを知ることや、収穫した食べ物や行事への取組を通して園児が季節を感じられるようにしている。

### (ア) 夏の夜のつどい（年長）について

#### 【現状の説明】

自由参加という形で行っている取組であるが、毎年年長児全員が参加を希望している。希望者は一学期の終業式後、15時30分に再度登園し20時30分まで、夏の季節を感じながらいつもと違う雰囲気幼稚園で友だちと一緒に過ごす。プールで遊び、おやつにスイカを食べ、教員による人形劇「たべられたやまんぼ」を見て、初めて幼稚園で夕食を食べる。日が暮れてくると園庭に出て関西大学の学生によるジャグリングを見せてもらい、火を囲んでファイヤーストームを行う。火の話聞き、歌を歌い、ゲームや踊りを楽しみ、最後に噴き上げ花火を見た後、感謝の気持ちを込めて静かに火を消しファイヤーストームを終える。その後、クラスごとに暗い園内を散歩し、夜の幼稚園を体験している。お土産として前日または午前中に自分たちで作ったクッキーを、事前に制作した手提げの入れ物に入れて持ち帰っている。

教員は、年長児のいつにない気持ちの高ぶりが、はしゃいだり、落ち着きのなさとなって現れることを予想し、怪我や事故につながらないように配慮して取り組んでいる。

#### 【点検・評価と今後の取組】

年長児にとって夏の夜のつどいは、普段の保育とは違う特別な一日ではあるが、日々の保育の中で子どもたちと一緒に準備をし、当日を楽しみにできるように過ごしている。毎年全員が希望しているので、現在の自由参加という形については検討する必要がある。また、年長児にとっては、午前中の保育もある上、再度登園することで長時間になるので、登園時間を遅らせることについても検討している。

## (イ) 園外保育（年中・年長）について

### 【現状の説明】

目的地に出かける際に園児の負担が少なく、かつ自然の中で楽しめる場所として年中組は千里南公園、年長組は万博記念公園自然文化園を選んでいる。園児がその場所に慣れて安心して遊ぶことができ、加えて季節の違いを感じられるよう春と秋の年2回同じ場所に出かけている。年中児の春の園外保育では、クラス替えに伴い様々な環境の変化に慣れていない時期であるため、園に戻ってから昼食を食べている。クラスに慣れ、子ども同士の関わりが深まる秋には、お弁当を持って出かけている。

年長児はクラス替えを行わないため年中組からの仲間意識が十分育っており、体力もつき長距離を歩けるので、春、秋ともにお弁当を持ち、広い公園内を散歩し自然の中でたっぷり過ごすようにしている。

毎年同じ場所へ出かけるが、教員はその年度の園児の状態に合わせた活動内容を計画し、時間配分や安全面への配慮、また草木の状態を把握するため、必ず下見に行き綿密な打ち合わせを行っている。

### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、園外保育の意図を理解していただいているかという設問に対して「理解している」との回答が2014年度は76.4%、2015年度は85.7%、2016年度は82.3%となっている。保護者にはクラス懇談会で園外保育の意図は伝えているが、2015年度より下回っている結果を受け、よりわかりやすく伝えるようにする。

## (ウ) 親子遠足（年少）について

### 【現状の説明】

園生活に慣れ、クラスの一員として仲間意識が芽生えるようになった11月に園外保育に出かけている。初めての園外保育なので、保護者と一緒に千里南公園で過ごす。遊具のない広場において親子で遊び、季節を感じながら散策を楽しむことを目的としている。意図するところを保護者には事前にクラス懇談会で伝え、当日教員は、園児のつぶやきや園児が何に興味を示しているのかを捉え、それを保護者に伝えることで親子がやりとりを楽しむきっかけになるよう働きかけている。

### 【点検・評価と今後の取組】

親子で楽しく過ごしてもらうことに重点を置いた親子遠足の主旨は、事前にクラス懇談会で伝えることで保護者の理解を得ている。我が子へ目を向け、親子でのやり取りを楽しむ姿が見られ、後日保護者から楽しい時間が持てたと連絡帳で感想も寄せられている。しかし、保護者アンケート調査によると「親子遠足は楽しめる内容でしたか。」という設問に対して「楽しめた」との回答が2014年度は83.9%、2015年度は92.6%、2016年度は89.6%となっている。2015年度より下回る結果になった要因を考察した上で、新たな工夫が必要であると考え。また、「お子さんと共に季節を感じることができましたか。」という設問に対して「感じられた」との回答が2014年度は90.3%、2015年度は97.1%、2016年度は97%

となっていることから、概ね季節や自然に親子の意識を向ける働きかけが出来たと理解している。

## (エ) お芋掘り（年長児）について

### 【現状の説明】

園内の畑に年長児が6月にさつまいもの苗を植え、水をやり育てている。年少・年中児にもできる作業ではあるが、本園では年長児の姿を見て憧れの気持ちを持つことや楽しみに待つことの喜びの体験を大切に考え、あえてさせていない。教員は、年長児のみならず年少・年中児にもさつまいもの苗が根付く様子や葉が茂っていく様子を観察させながら、収穫の日を楽しみにできるようにしている。

お芋掘り当日は、年少・年中児が見守る中、年長児がさつまいものつるを引っ張り、素手で土を掘り、大切にお芋を掘り出す。友だちと一緒に力を合わせて掘り、見ている年少・年中児に掘ったお芋を見せて収穫の喜びをみんなで味わっている。

### 【点検・評価と今後の取組】

ここ数年、天候の影響等で苗がうまく育たず、年々収穫量が減少していた。そこで昨年、農作物経験者の卒園生の祖父に畑を耕すところから指導していただき、たくさん収穫することができた。今年も同様に、ご指導のもとに新しい土を入れ、肥料をまくことで収穫することができた。

本園では園外に芋掘りに出かけることはせず、園内に畑を設けて園児の手で苗を植え、育てて収穫するという過程を体験することを大切に考えている。園内に畑を設け全園的な取組にしていることを保護者に伝えていたが、保護者アンケート調査によると「年長児が苗を植え、育てたお芋を収穫したことをご存じでしたか。」という設問に対して「知っていた」との回答が2016年度は77.9%に留まっている。学年別に見ると年少児保護者の回答が69.2%と低い結果となっている。これは園だよりに詳しく様子を記載していなかったことや、年少組においては学年だよりやクラス懇談会で伝えていなかったことが要因であると考え、今後は学年だより、クラス懇談会で保護者に伝えるようにする。

## (オ) 焼き芋について

### 【現状の説明】

10月下旬に年長児が収穫したさつまいもを、秋が深まる11月半ばに園庭で焼き芋にして全園児で食べている。芋をたわしで洗い、アルミホイルで包む下準備と、園庭や裏山で落ち葉や枯れ枝を拾い集める焚き火の用意を年長児が行い、全園児が揃ったところで火を熾し、その中で芋を焼いている。園児たちは深まる秋の空の下、焚き火の炎を見て、煙の匂いをかぎ、焼き芋が出来上がるのを楽しみに待つ。焚き火の様子を眺めながら焼き芋ができるまで待つ時間、教員は園児の興味や関心を保ち続けられるよう配慮している。出来たての焼き芋からあがる湯気の様子や、匂い、色、温かさ等を感じながらみんなで分け合っ

て食べることで、収穫物のみならず、育てたり調理してくれたりした人への感謝の気持ちを育てていくものと考え、取り組んでいる。

## 【点検・評価と今後の取組】

年少・年中児は、年長児が焼き芋の準備をする姿を見ることで、年長児への憧れの気持ちを持ち、自分が年長組になった時に張り切って取り組む姿につながっている。作る過程を見た上で、できたての焼き芋を食べることで、園児は五感を働かせ食育にもつながっていると考える。今後も、みんなで食べる喜びを味わえるように取り組んでいく。

## 5 学校関係者評価委員会からの評価結果

### 〈自己点検・評価の適切性〉

関西大学幼稚園では自己点検・評価の内容を複数項目に分類し、3年で一巡する形をとっており、2016年度は食育、年間行事について自己点検・評価を行っている。2015年度からは保護者に対するアンケートの実施方法を変更し、クラス懇談会の直後に実施するよう工夫したことにより、97.3%という非常に高い回収率となった。回収率はアンケート結果の信頼性を表すものであることから、園の教育に対する保護者の声がこれまで以上によく伝わる結果となっている。また、これだけ多くの保護者が調査に協力されるということは、子どもの育ちを園に任せきりにするのではなく、保護者も一緒に考え意見を述べる、園と保護者の双方向の教育が行われている証でもある。昨今、ややもすれば、教員の一方的な教育になりがちであるが、本園では保護者と一緒に子どもの育ちにかかわるといって教育本来のあり方を貫いている。

### 〈重点的な取り組みの適切性〉

本年度の自己点検・評価項目のひとつである「食育」については、食育基本法と幼稚園教育要領にある健康とを関連づけて進めており、従前の本委員会でも高く評価したところであるが、本年度は「食育」の取組をお弁当、給食、おやつ、季節の実りに関することに4分類し、分析を加えている。季節の実りに関することでは、自然の恵みに感謝する気持ちを通して食べ物大切さを肌で感じ、お弁当、給食、おやつでは食べる楽しみだけでなく、自身のために食材に手を加え、成長を支えてくれる人のいる環境が、子どもの心身の豊かな育ちにつながることを示唆している。

「年間行事」については、子どもの成長に関する行事、日本の伝統行事、クラスづくりに関する行事、季節を感じる取組に4分類し、2014年度から2016年度の3年間のアンケート結果を分析している。折々の行事は日常の教育活動の一つであるが、行事を行事として終えるのではなく、行事を通して、子どもたちが考え行動することが、やがては一人の人として社会の中で生きていくときに、大きな力となるように考えられていることがよくわかる。

### 〈自己点検の結果を踏まえた改善方策の適切性〉

本年度の自己点検・評価は三巡目ということもあり、これまでとの比較が多くなされている。データが蓄積されると数値を比べて分析をすることが容易になり、表面的な評価に

なることも考えられる。どんな調査も評価される側は結果が気になり、前年度よりよい結果を得るために何をすればよいかと考えるものである。

しかし、本園では数値に表れた結果は結果として受け止めながら、なぜそのような結果になったのか、どうすれば園がめざす教育に近づくことができるかを検討しながら評価を行っている。毎日の保育にはそれほど大きな変化がみられるわけではなく、年少から年中、年長へと、日々の積み重ねが子どもたちの人となりを育み、その後の人生に大きな影響を及ぼすのである。そこには時間がたたないとわからないものがたくさんある。年間行事を目玉にすることで、外部に対してアピールするという方法もあるが、本園は決してそのようなことは行わない。それは、子どもの成長は子ども自身のものであり、子どもは自らの力で成長するということを、日々の保育の中で教員が十分理解し、子どもの力を信頼しているからこそである。「食育」も「年間行事」も、子どもが自身の体験の中で、保護者や教員をはじめとする、多くの人に大切にされているということを実感し、かけがえのない自身を見つけることのためにある。この大切にされた経験は、成長する中で自己肯定感や有感感につながり、人を大切にする姿勢をも育むことになるであろう。

#### 【学校関係者評価委員会委員名簿】

氏名	所属及び役職
北村 由美	関西大学大学院 心理学研究科 教授 ※評価結果取りまとめ執筆者
井手 知美	関西大学幼稚園 はぐくみの会 会長
和田 千里	関西大学幼稚園 卒園生保護者
味園 貴子	関西大学幼稚園 卒園生保護者
石倉 千世	関西大学幼稚園 園長

## 6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書

関西大学幼稚園

園長 石倉 千世

本園の学校評価（自己点検・評価）における評価項目は、本報告書2頁の表に記載しているように、3年かけて一巡する取組にしている。2016年度の項目である「年間行事」については、保護者アンケートを2014、2015、2016年度の3年間実施し、毎年反省時の参考にすると共に、今年度は3年間のアンケート経年調査結果を踏まえて点検・評価を行った。

3年間のアンケート結果を小項目別に見ると、「入園式」「誕生日のお祝い」「運動月間」「休日参観」「おみせやさんごっこ」については、2014、2015、2016年とA評価のパーセンテージが着実に上がっている。

しかし、「お月見」「お餅つき」「冬のつどい」「園外保育」「親子遠足」「お芋掘り」「焼き

芋」については、2014年度からは向上したものの、2015年度を頂点に、2016年度は低下した。この点については、学校関係者評価委員会においても話題になった。委員の方から、「～を意識して過ごされましたか。」「(～ということ)をご存知でしたか。」という設問の文言に対して、保護者自身が自分の把握度や理解度を高い水準で求めて意識するあまり、自分に厳しい評価を行い、A評価を付けなかったのではないかと、というご意見があった。

たとえ設問の文言から、保護者が自分自身の評価を問われていると読み取ったとしても、受け取りだけを低下の要因であると結論付けるつもりはない。ひとつの行事に取り組む際、「行事」に対する園の本意や意図を伝えきれていなかった点が課題である。

具体的に言うならば、親子遠足等では、子どもの言葉に耳を傾け、子どもの発見や気付きを共感することで、子どもとうまく関わりながら楽しい時間が過ごせることを伝える等、保護者への働きかけをより丁寧にするよう心掛ける必要がある。また、春と秋に同じ場所に出かける園外保育は本園の大きな特色であり、遊具のない所で遊べることは教育目的のひとつである。その目的について、保護者を巻き込む形で伝えていく必要があると考える。

「食育について」は、食事のマナーの指導や栄養に関する知識を獲得させることだけでなく、実際にみんなと一緒にいただくことで、食に対する興味や関心が増すと考えている。

一方で、園児に食べ物(おやつ・いただきもの)を与えることについて、アレルギーの問題だけではなく、衛生面等近年様々な問題が実施を難しいものになっている。日本の伝統であるお餅つきが、相次いで中止になるという風潮の中、園児の健康を守りながら安全安心に実施できるか熟考しなければならない。

危険だからと「行事」を止めることや、子どもの行動を禁止してやらせない方向にすることは簡単なことである。しかし、危ない物を取り上げ、危険なことから遠ざけるだけでは、経験から生まれる「考える力」は育つものではない。実際にいろんな体験をすることと、様々な心情を経験することから、子どもの考える力が養われ磨かれていくと考えている。園生活だけではなく、家庭生活においても、本園の教育に対する取組への理解と協力を得られるよう、学校評価を大いに活用していきたい。

## 7 アンケート結果

2016年度 実施対象者別 食育に関するアンケート集計結果比較一覧表

2016年度 保護者対象 食育に関するアンケート集計結果

2016年度 実施対象者別 行事に関するアンケート集計結果比較一覧表

2014年度～2016年度 保護者対象 行事に関するアンケート集計結果 3カ年比較

2016年度 保護者対象 行事に関するアンケート集計結果

2015年度 保護者対象 行事に関するアンケート集計結果

2014年度 保護者対象 行事に関するアンケート集計結果

2016年度 関西大学幼稚園 保護者対象アンケート(用紙)

以上

＜2016年度 実施対象者別 食育に関するアンケート集計結果比較一覧表＞

保護者対象アンケート		教員対象アンケート									
設問	A	B	C	D	無記入	設問	A	B	C	D	無記入
1. お子さんは朝食を誰と食べていますか。	43.5%	29.8%	17.8%	7.9%	1.0%						
2. 朝食の主な主食は何ですか。	30.5%	18.9%	20.5%	27.4%	2.6%						
3. 朝食は三度の食事の内の大事な一食であることを意識していますか。	62.9%	35.6%	1.5%	0.0%	0.0%	1. 朝食の大切さを子どもが感じられるように働きかけていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. お子さんは夕食を誰と食べていますか。	44.8%	49.5%	3.6%	0.5%	1.5%						
5. 夕食は何時頃、食べ始めますか。	25.8%	50.0%	20.1%	0.0%	4.1%						
6. お子さんは偏食がありますか。	49.0%	50.5%	0.0%	0.0%	0.5%	2. 偏食のある子どもに対して効果的な指導をしていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7. 幼稚園でとる昼食（給食・お弁当）を通してお子さんは苦手なものを食べられるようになりましたか。	33.7%	53.7%	7.4%	1.1%	4.2%						
8. お子さんは給食を楽しみにしていますか。	69.1%	25.8%	3.6%	1.0%	0.5%	3. 幼稚園でとる昼食（給食・お弁当）において、マナーを守り残さずきれいに食べるように指導していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9. お子さんはお弁当を楽しみにしていますか。	82.0%	16.5%	1.5%	0.0%	0.0%	4. 幼稚園でとる昼食（給食・お弁当）において、みんなと楽しく食べられる雰囲気を作るように心がけていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10. お弁当は栄養のバランスや色どりなどを考えて作るようにしていますか。	55.7%	42.3%	2.1%	0.0%	0.0%	5. お弁当は栄養のバランスなどを考えて作るように保護者に働きかけていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11. 幼稚園ではクッキーの他に月見団子や冬至の南京など季節や行事を意識したおやつにしていますが、ご家庭ではおやつの内容を季節や行事を意識し与えることがありますか。	31.4%	56.2%	9.3%	2.6%	0.5%	7. 幼稚園で食べたり作ったりするおやつを通して、子どもが季節や行事に興味や関心を持ち、文化風習を身近に感じられるように心がけていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. お子さんは幼稚園でおやつを食べること、あるいは作ることを楽しんでいますか。	92.3%	6.7%	1.0%	0.0%	0.0%	6. 幼稚園でおやつを食べること、あるいは作ることを楽しみにできるように指導していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. 幼稚園で年長児が野菜（さつまいも、トマト）を育てていたことをご存じですか。	74.2%	20.6%	4.6%	0.5%	0.0%	8. 年長児が育てていた野菜について成長の様子や収穫を楽しみにできるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. 収穫した野菜（さつまいも、トマト）をみんなでいただいたことをご存じですか。	85.1%	14.4%	0.0%	0.5%	0.0%						
15. 幼稚園あるいは家庭で、野菜を育てることによってお子さんが野菜に興味を持ったと思いますか。	58.2%	37.1%	4.6%	0.0%	0.0%	9. 年長児が育てていた野菜を通して、野菜に興味や関心を持つことができているように働きかけていましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16. お子さんから幼稚園にある実のなる木の話あるいはそれを食べたことの話聞いたことがありますか。	82.0%	13.9%	3.1%	1.0%	0.0%	10. 幼稚園に実のなる木があることを知らせ、散策等で身近に感じられるように働きかけていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
17. 食育だより「いただきます」を発行していますが、子育てにおいて参考になっていますか。	79.4%	20.1%	0.5%	0.0%	0.0%	11. 食育だより「いただきます」を発行していますが、子育ての参考になるよう内容を工夫していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



＜2016年度 実施対象者別 行事に関するアンケート集計結果比較一覧表＞

項目	保護者対象アンケート					教員対象アンケート						
	設問	A	B	C	D	無記入	設問	A	B	C	D	無記入
1. 進級式について、年中・年長児保護者の方におたずねします。	①進級式にはご家族のどなたかが参加されましたか？ Aと答えた方のみお答えください ②お子さんの一年間の成長を感じることができましたか。	全体	96.1%	3.9%	0.0%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		全体	75.6%	22.8%	0.8%	0.0%	0.8%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 入園式について、年少児保護者の方におたずねします。	①入園式にはご家族のどなたかが参加されましたか？ Aと答えた方のみお答えください ②お子さんが入園する喜びを感じることができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		全体	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 端午の節句の取り組みについて	①幼稚園では子ども達の健やかな成長を願い端午の節句の飾り、保育室に喜ぶを飾り、こいのぼりやかぶとを制作するなどの取り組みをしました。ご存じでしたか。 ②家庭で端午の節句を意識しましたか。	全体	74.9%	22.5%	1.0%	1.6%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		全体	56.0%	41.9%	1.6%	0.5%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. セタについておたずねします。	①幼稚園ではセタの話をし笹飾りを作り、セタの集会を行いました。ご存じでしたか。 ②ご家庭では星を見たり笹飾りを楽しむなどセタを意識しましたか。	全体	92.7%	6.8%	0.5%	0.0%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		全体	82.7%	16.2%	0.5%	0.5%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. お月見についておたずねします。	①保育室にすすきや秋の花を飾り、お月見の話をし、年長児が作ったお月見団子を作りました。ご存じでしたか。 ②家庭でお月見を意識して過ごしましたか。	全体	83.0%	13.5%	2.5%	0.5%	0.5%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		全体	59.0%	34.0%	4.0%	2.5%	0.5%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 運動月間についておたずねします。	①10月は運動月間として毎日の園生活の中に、戸外での体育遊びを多く取り入れ、毎日「運動会ごっこ」を行ってきました。ご存じでしたか。 ②運動会の参観についておたずねします。運動会参観にご家族のどなたかが参加されましたか。 ア. プログラムは楽しめる内容でしたか。 イ. 親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか。 ウ. 運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。	全体	94.5%	5.0%	0.0%	0.5%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		全体	99.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7. 春、秋の園外保育（親子遠足）について、年少児保護者の方におたずねします。	①春と秋、年中組は千里南公園に、年長組は万博公園に園外保育に出かけました。本園の園外保育は子どもたちに季節の変化を感じさせ、安心感や充実感を考慮し、春と秋に同じ場所へ出かけています。その意図はご理解いただいていると思いますが、ご存じですか。 ①親子遠足に参加されましたか。 ア. 親子遠足は楽しめる内容でしたか。 イ. お子さんと共に季節を感じることもできましたか。	全体	82.3%	15.4%	2.3%	0.0%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		全体	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. 年少園外保育（親子遠足）について、年少児保護者の方におたずねします。	ア. 親子遠足は楽しめる内容でしたか。 イ. お子さんと共に季節を感じることもできましたか。 ①年長児が苗を植え、育てたお芋を収穫したことをご存じでしたか。 ②年長児が野焼き芋の準備を手伝い、戸外でみんなで行っていただきました。ご存じでしたか。	全体	89.6%	10.4%	0.0%	0.0%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		全体	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9. お芋掘りについておたずねします。	①年長児が苗を植え、育てたお芋を収穫したことをご存じでしたか。 ②年長児が野焼き芋の準備を手伝い、戸外でみんなで行っていただきました。ご存じでしたか。	全体	77.9%	20.5%	1.0%	0.0%	0.5%	全体	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
		全体	85.1%	12.8%	1.0%	0.0%	1.0%	全体	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%

項目	保護者対象アンケート					教員対象アンケート							
	設問	A	B	C	D	無記入	設問	A	B	C	D	無記入	
11. 休日参観についておたずねします。	①休日参観にご家族のどなたかが参加されましたか。	全体	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%							
	ア. 休日参観は楽しめる内容でしたか。	全体	90.5%	8.4%	0.0%	0.0%	10. 休日参観では、参加した親子が楽しめる保育ができましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	イ. お子さんの園での様子を知る機会になりましたか。	全体	86.8%	12.6%	0.0%	0.0%	0.5%	11. 休日参観において保護者に本園の保育を感じてもらえるように内容を工夫しましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ウ. 休日参観ではお子さんの成長を感じられましたか。	全体	84.7%	13.7%	1.1%	0.0%	0.5%	12. おもちゃつきを行ったことを保護者に知らせるよう努めましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	12. お餅つきについておたずねします。	全体	93.3%	6.2%	0.5%	0.0%	0.0%						
13. おみせやさんごっこについて、年長児保護者の方におたずねします。	①参観に参加されましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
	ア. 子どもたちとの関わりを楽しめましたか。	全体	90.5%	3.2%	0.0%	0.0%	6.3%						
	イ. おみせやさんごっこに取り組むお子さんの姿に成長を感じられましたか。	全体	88.9%	9.5%	1.6%	0.0%	0.0%						
14. 冬のつどいに向けての取り組みについておたずねします。	①冬のつどいに向けて冬至の話をし、冬の寒さや太陽の暖かさを体感しています。体を温める食べ物のお話をし、ぎんなん、なんきん、ゆず茶をいただきます。また、12月18日には冬のつどいの集会を行う予定です。ご存じですか。	全体	79.4%	18.0%	2.6%	0.0%	0.0%						
	②家庭で冬至を意識して過ごそうと思いますか。	全体	64.4%	33.5%	2.1%	0.0%	0.0%	13. 冬のつどいに向けての取り組みを保護者に知らせ、家庭で意識して過ごせるように働きかけましたか。	全体	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. 節分についておたずねします。	①豆まきの意味を伝え、鬼の面を作り、みんなで豆まきをした後、元気に過ごせるように願って豆をいただきました。ご存じでしたか。	全体	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
	②家庭で節分を意識して過ごされましたか。	全体	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
16. ひなまつりについておたずねします。	①ひなまつりの意味を伝え、おひなさまの制作を行い、段飾りを飾っているホールでひなまつりの集会を行いました。ご存じでしたか。	全体	89.0%	9.5%	1.0%	0.5%	0.0%						
	②家庭で桃の節句を意識して過ごされましたか。	全体	62.0%	33.5%	3.0%	1.5%	0.0%						
* お誕生日のお祝いについて	①ひとり一人の生まれた日を大切に考え（誕生日当日、園がお休みの場合は出来るだけ近い日を選んで）お祝いをしています。みんなに祝福を受けたお祝いをしていると感じましたか。	全体	95.7%	3.6%	0.7%	0.0%	0.0%						
	②お子さんの成長を振り返る機会となりましたか。	全体	96.4%	2.9%	0.0%	0.7%	0.0%						
	③年中、年長児の保護者の方におたずねします。誕生日へのプレゼントは素材でできさやかな物ですが、友だちのお誕生日を祝うという思いで作っています。持ち帰ったプレゼントをお子さんと一緒にご覧になり、どのように思われましたか。	全体	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%						
	④幼稚園のお祝いに参加されて、家庭でのお祝いの持ち方やお子さんへのプレゼントのことを考えるようになりましたか。	全体	70.7%	24.3%	3.6%	1.4%	0.0%						



項目	設問														
	2016年度					2015年度					2014年度				
	A	B	C	D	無記入	A	B	C	D	無記入	A	B	C	D	無記入
9. お芋掘りについておたずねします。	77.9%	20.5%	1.0%	0.0%	0.5%	84.1%	11.8%	3.6%	0.5%	0.0%	81.5%	16.8%	0.5%	0.5%	0.5%
10. 焼き芋についておたずねします。	85.1%	12.8%	1.0%	0.0%	1.0%	87.8%	11.2%	0.0%	0.5%	0.5%	84.9%	13.4%	0.0%	1.1%	0.5%
11. 休日参観についておたずねします。	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	91.0%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	90.5%	8.4%	0.0%	0.0%	1.1%	85.4%	12.9%	0.0%	0.0%	1.8%	83.6%	15.3%	0.5%	0.0%	0.5%
	86.8%	12.6%	0.0%	0.0%	0.5%	88.3%	10.5%	0.6%	0.0%	0.6%	78.1%	21.3%	0.0%	0.0%	0.5%
	84.7%	13.7%	1.1%	0.0%	0.5%	83.0%	17.0%	0.0%	0.0%	0.0%	73.2%	25.1%	0.5%	0.0%	1.1%
12. お餅つきについておたずねします。	93.3%	6.2%	0.5%	0.0%	0.0%	93.8%	5.3%	1.1%	0.0%	0.0%	93.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.5%
13. おみせやさんごっこについて、年長児保護者の方におたずねします。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	90.5%	3.2%	0.0%	0.0%	6.3%	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	92.2%	4.7%	1.6%	0.0%	1.6%
	88.9%	9.5%	1.6%	0.0%	0.0%	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	82.8%	14.1%	1.6%	0.0%	1.6%
14. 冬のつどいに向けての取り組みについておたずねします。	79.4%	18.0%	2.6%	0.0%	0.0%	79.8%	18.6%	0.5%	0.5%	0.5%	64.0%	27.4%	5.9%	0.5%	2.2%
	64.4%	33.5%	2.1%	0.0%	0.0%	67.6%	30.9%	1.6%	0.0%	0.0%	64.0%	32.3%	2.2%	0.0%	1.6%
15. 節分についておたずねします。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	86.4%	13.1%	0.6%	0.0%	0.0%
	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	20.5%	0.6%	0.6%	0.6%
16. ひなまつりについておたずねします。	89.0%	9.5%	1.0%	0.5%	0.0%	89.9%	8.5%	1.1%	0.0%	0.5%	84.7%	14.8%	0.6%	0.0%	0.0%
	62.0%	33.5%	3.0%	1.5%	0.0%	63.0%	32.8%	3.7%	0.5%	0.0%	54.0%	34.1%	11.4%	0.6%	0.0%
* お誕生日のお祝いについて	95.7%	3.6%	0.7%	0.0%	0.0%	88.4%	10.6%	0.9%	0.0%	0.0%	86.8%	12.1%	1.1%	0.0%	0.0%
	96.4%	2.9%	0.0%	0.7%	0.0%	91.7%	6.9%	1.4%	0.0%	0.0%	90.8%	8.0%	1.1%	0.0%	0.0%
	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	70.7%	24.3%	3.6%	1.4%	0.0%	49.1%	31.5%	14.8%	3.7%	0.9%	48.3%	29.3%	17.8%	3.4%	1.1%







項目	説明	説明				無記入	無記入	
		A	B	C	D			
9. お芋掘りについておたずねします。	①年長児が苗を植え、育てたお芋を収穫したことをご存じでしたか。	84.1%	11.8%	3.6%	0.5%	0.0%	0.0%	
		年中	78.1%	15.6%	4.7%	1.6%	0.0%	0.0%
		年長	90.3%	8.1%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
10. 焼き芋についておたずねします。	①年長児が野焼き芋の準備を手伝い、戸外でみんなでいただきました。ご存じでしたか。	87.8%	11.2%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	
		年中	85.5%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年長	88.3%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
11. 休日参観についておたずねします。	①休日参観にご家族のどなたかが参加されましたか。 ア. 休日参観は楽しめる内容でしたか。 イ. お子さんの園での様子を知る機会になりましたか。 ウ. お子さんの成長を感じることができましたか。	91.0%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		年中	85.4%	12.9%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
		年長	88.3%	10.5%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%
12. お餅つきについておたずねします。	①年長児は実際にお餅をつく経験をし、できたてのお餅をみんなでいただきました。ご存じでしたか。	93.6%	5.3%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
		年中	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年長	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. おみせやさんごっこについて、年長児保護者の方におたずねします。	①おみせやさんごっこに取り組みお子さんの姿に成長を感じられましたか。 ア. 子どもたちとの関わりを楽しめましたか。 イ. おみせやさんごっこに取り組みお子さんの姿に成長を感じられましたか。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		年中	79.8%	18.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%
		年長	67.6%	30.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
14. 冬のつどいに向けての取り組みについておたずねします。	①冬のつどいに向けて冬至の話をし、冬の寒さや太陽の暖かさを体感しています。体を温める食べ物の話をし、ぎんなん、なんなん、ゆず茶をいただきます。また、12月18日には冬のつどいの集会を行う予定です。ご存じですか。 ②家庭で冬至を意識して過ごそうと思いますか。	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		年中	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年長	89.9%	8.5%	1.1%	0.0%	0.5%	0.0%
15. 節分についておたずねします。	①豆まきの意味を伝え、鬼の面を作り、みんなで豆まきをした後、元気に過ごせるよう願って豆をいただきました。ご存じでしたか。 ②家庭で節分を意識して過ごされましたか。	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		年中	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年長	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16. ひなまつりについておたずねします。	①ひなまつりの意味を伝え、おひなさまの制作を行い、段飾りを飾っているホールでひなまつりの集会を行いました。ご存じでしたか。 ②家庭で桃の節句を意識して過ごされましたか。	89.9%	8.5%	1.1%	0.0%	0.5%	0.0%	
		年中	63.0%	32.8%	3.7%	0.5%	0.0%	0.0%
		年長	88.4%	10.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
* お誕生日のお祝いについて	①ひとり一人の生まれた日を大切に考え（誕生日当日、園がお休みの場合は出来るだけ近い日を選んで）お祝いをしています。みんなに祝福を受けたお祝いをしてもらっていると感じましたか。 ②お子さんの成長を振り返る機会となりましたか。 ③年中、年長児の保護者の方におたずねします。誕生日へのプレゼントは素朴でささやかな物ですが、友だちのお誕生日を祝うという思いで作っています。持ち帰ったプレゼントをお子さんと一緒にご覧になり、どのようにお祝いしたいと思いますか。 ④幼稚園のお祝いに参加されて、家庭でのお祝いの持ち方やお子さんへのプレゼントのことを考えるようになりましたか。	91.7%	6.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
		年中	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年長	49.1%	31.5%	14.8%	3.7%	0.9%	0.0%
無記入		97.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		年中	89.0%	11.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		年長	41.7%	36.1%	16.7%	4.2%	1.4%	0.0%
無記入		52.1%	26.0%	16.4%	4.1%	1.4%	0.0%	
		年中	52.1%	26.0%	16.4%	4.1%	1.4%	0.0%
		年長	52.1%	26.0%	16.4%	4.1%	1.4%	0.0%





## 2016 年度 関西大学幼稚園 保護者対象アンケート

## &lt; 食育について &gt;

1. お子さんは朝食を誰と食べていますか。
  - ア 家族そろって食べることが多い
  - イ 父・母・祖父・祖母の誰かと食べるが多い
  - ウ 兄弟姉妹の子どもだけで食べるが多い
  - エ 一人で食べるが多い
2. 朝食の主な主食は何ですか。
  - ア ご飯
  - イ パン
  - ウ どちらかといえばご飯
  - エ どちらかといえばパン
  - オ その他 ( )
3. 朝食は三度の食事の内の大事な一食であることを意識していますか。
  - A 意識している
  - B まあまあ意識している
  - C あまり意識していない
  - D 意識していない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )
4. お子さんは夕食を誰と食べていますか。
  - ア 家族そろって食べるが多い
  - イ 父・母・祖父・祖母の誰かと食べるが多い
  - ウ 兄弟姉妹の子どもだけで食べるが多い
  - エ 一人で食べるが多い
5. 夕食は何時頃、食べ始めますか。
  - ア 17時台
  - イ 18時台
  - ウ 19時台
  - エ 20時台
6. お子さんは偏食がありますか。
  - A ある
  - B ない

\* Aと答えた方にアの項目についておたずねします。

ア. 幼稚園でとる昼食（給食・お弁当）を通してお子さんは苦手なものを食べられるようになりましたか。

  - Ⓐ 幼稚園で食べられるようになり、家庭でも食べるようになった。
  - Ⓑ 幼稚園で食べられるようになったが、家庭ではなかなか食べない。
  - Ⓒ 幼稚園・家庭において、あまり変化が見られない
  - Ⓓ 幼稚園・家庭において、変化が見られない

◎または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

7. 幼稚園でとる昼食（給食・お弁当）を通してお子さんがマナーを意識していると感じますか。

- A 感じる
- B まあまあ感じる
- C あまり感じない
- D 感じない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

8. お子さんは給食を楽しみにしていますか。

- A 楽しみにしている
- B まあまあ楽しみにしている
- C あまり楽しみにしていない
- D 楽しみにしていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

9. お子さんはお弁当を楽しみにしていますか。

- A 楽しみにしている
- B まあまあ楽しみにしている
- C あまり楽しみにしていない
- D 楽しみにしていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

10. お弁当は栄養のバランスや色どりなどを考えて作るようにしていますか。

- A 意識して作っている
- B まあまあ意識するようにしている
- C あまり意識して作っていない
- D 意識せず作っている

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

11. 幼稚園ではクッキーの他にも月見団子や冬至の南京など季節や行事を意識したおやつにしていますが、ご家庭ではおやつの内容を季節や行事を意識し与えることがありますか。

- A 意識している
- B まあまあ意識している
- C あまり意識していない
- D 意識していない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 2. お子さんは幼稚園でおやつを食べること、あるいは作ることを楽しみにしていますか。

- A 楽しみにしている
- B まあまあ楽しみにしている
- C あまり楽しみにしていない
- D 楽しみにしていない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 3. 幼稚園で年長児が野菜（さつまいも、トマト）を育てていたことをご存じですか。

- A 知っている
- B まあまあ知っている
- C あまり知らない
- D 知らない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 4. 収穫した野菜(さつまいも、トマト)をみんなでいただいたことをご存じですか。

- A 知っている
- B まあまあ知っている
- C あまり知らない
- D 知らない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 5. 幼稚園あるいは家庭で、野菜を育てることによってお子さんが野菜に興味を持ったと思いますか。

- A そう思う
- B まあまあそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 6. お子さんから幼稚園にある実のなる木の話あるいはそれを食べたことの話を知ることがありますか。

- A 聞いたことがある
- B ときどき聞いたことがある
- C あまり聞いたことがない
- D 聞いたことがない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

1 7. 食育だより「いただきます」を発行していますが、子育てにおいて参考になっていますか。

- A 参考になっている

- B まあまあ参考になっている
- C ほとんど参考になってない
- D 参考になっていない

\* B. C. Dと答えた方におたずねします。

「食育だより」に希望されることをご記入ください。

( )

< 行事や四季の取り組みについて >

1. 進級式についておたずねします。(年中・年長保護者の方のみ)

①進級式にはご家族のどなたかが参加されましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

\* Aと答えた方にアの項目についておたずねします。

ア. お子さんの成長を感じることができましたか。

- ① 感じられた
- ② まあまあ感じられた
- ③ あまり感じられなかった
- ④ 感じられなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 入園式についておたずねします。(年少・年中新入園児保護者の方のみ)

①入園式にはご家族のどなたかが参加されましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

\* Aと答えた方にアの項目についておたずねします。

ア. お子さんが入園する喜びを感じることができましたか。

- ① 感じられた
- ② まあまあ感じられた
- ③ あまり感じられなかった
- ④ 感じられなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

3. 端午の節句についておたずねします。

①幼稚園では子どもの健やかな成長を願い端午の節句の話をし、保育室に菖蒲を飾り、こいのぼりやかぶとを制作するなどの取り組みをしました。ご存じでしたか。

- A 知っていた
- B だいたい知っていた
- C あまり知らなかった
- D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

②ご家庭では端午の節句を意識しましたか。

- A 意識した
- B まあまあ意識した
- C あまり意識しなかった
- D 意識しなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

4. 七夕についておたずねします。

①幼稚園では七夕の話をし笹飾りを作り、七夕の集会を行いました。ご存じでしたか。

- A 知っていた
- B だいたい知っていた
- C あまり知らなかった
- D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

②ご家庭では星を見たり笹飾りを楽しむなど七夕を意識しましたか。

- A 意識した
- B まあまあ意識した
- C あまり意識しなかった
- D 意識しなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

5. お月見についておたずねします。

①保育室にすすきや秋の花を飾り、お月見の話をし、年長児が作ったお月見だんごをいただきました。ご存じでしたか。

- A 知っていた
- B だいたい知っていた
- C あまり知らなかった
- D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

②家庭でお月見を意識して過ごしましたか。

- A 意識した
- B まあまあ意識した
- C あまり意識しなかった
- D 意識しなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

6. 運動月間についておたずねします。

①10月は運動月間として毎日の園生活の中に、戸外での体育遊びを多く取り入れ、毎日「運動会ごっこ」を行ってきました。ご存じでしたか。

- A 知っていた
- B だいたい知っていた
- C あまり知らなかった
- D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

②運動会の参観についておたずねします。運動会参観にご家族のどなたかが参加されましたか。

- A 参加した
- B 参加していない

\*Aと答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねします。

ア. プログラムは楽しめる内容でしたか。

- ① 楽しめた
- ② まあまあ楽しめた
- ③ あまり楽しめなかった
- ④ 楽しめなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

イ. 親子のプログラムではお子さんと楽しめましたか。

- ① 楽しめた
- ② まあまあ楽しめた
- ③ あまり楽しめなかった
- ④ 楽しめなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

ウ. 運動会ではお子さんの成長を感じられましたか。

- ① 感じられた
- ② まあまあ感じられた
- ③ あまり感じられなかった
- ④ 感じられなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

7. 春、秋の園外保育についておたずねします。(年中・年長保護者の方のみ)

①春と秋、年中組は千里南公園に、年長組は万博公園に出かけました。本園の園外保育は子どもたちに季節の変化を感じさせ、安心感や充実感を考慮し、春と秋に同じ場所へ出かけています。その意図はご存じだと思いますが、ご理解いただいていますか。

- A 理解している
- B まあまあ理解している

C あまり理解していない

D 理解していない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

8. 年少園外保育（親子遠足）についておたずねします。（年少保護者の方のみ）

①親子遠足に参加されましたか。

A 参加した

B 参加していない

\*Aと答えた方にア、イの項目についておたずねします。

ア. 親子遠足は楽しめる内容でしたか。

㉑ 楽しめた

㉒ まあまあ楽しめた

㉓ あまり楽しめなかった

㉔ 楽しめなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

( )

イ. お子さんと共に季節を感じることができましたか。

㉑ 感じられた

㉒ まあまあ感じられた

㉓ あまり感じられなかった

㉔ 感じられなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

( )

9. お芋掘りについておたずねします。

①年長児が苗を植え、育てたお芋を収穫したことをご存じでしたか。

A 知っていた

B だいたい知っていた

C あまり知らなかった

D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

10. 焼き芋についておたずねします。

①年長児が焼き芋の準備を手伝い、戸外でみんなでいただきました。ご存じでしたか。

A 知っていた

B まあまあ知っていた

C あまり知らなかった

D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

11. 休日参観についておたずねします。

①休日参観にはご家族のどなたかが参加されましたか。

A 参加した

B 参加していない

\*Aと答えた方にア、イ、ウの項目についておたずねします。

ア. 休日参観は楽しめる内容でしたか。

① 楽しめた

② まあまあ楽しめた

③ あまり楽しめなかった

④ 楽しめなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

イ. お子さんの園での様子を知る機会になりましたか。

① 知る機会になった

② まあまあ知る機会になった

③ あまり知る機会にならなかった

④ 知る機会にならなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

ウ. お子さんの成長を感じることができましたか。

① 感じられた

② まあまあ感じられた

③ あまり感じられなかった

④ 感じられなかった

③または④と答えた方はその理由をお書きください。

( )

12. お餅つきについておたずねします。

①年長児は実際にお餅をつく経験をし、できたてのお餅をみんなでいただきました。ご存じでしたか。

A 知っていた

B だいたい知っていた

C あまり知らなかった

D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

13. おみせやさんごっこについておたずねします。(年長保護者の方のみ)

①参観に参加されましたか。

A 参加した

B 参加していない

\*Aと答えた方にア、イの項目についておたずねします。

ア. 子どもたちとの関わりを楽しめましたか。

① 楽しめた

② まあまあ楽しめた

㉓ あまり楽しめなかった

㉔ 楽しめなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

( )

イ. おみせやさんごっこに取り組むお子さんの姿に成長を感じられましたか。

㉑ 感じられた

㉒ まあまあ感じられた

㉓ あまり感じられなかった

㉔ 感じられなかった

㉓または㉔と答えた方はその理由をお書きください。

( )

14. 冬のつどいに向けての取り組みについておたずねします。

①冬のつどいに向けて冬至の話をし、冬の寒さや太陽の暖かさを体感しています。体を温める食べ物の話をし、ぎんなん、なんきん、ゆず茶をいただきます。また、12月19日には冬のつどいの集会を行う予定です。ご存じですか。

A 知っている

B まあまあ知っている

C あまり知らない

D 知らない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

②家庭で冬至を意識して過ごそうと思いますか。

A 思う

B まあまあ思う

C あまり思わない

D 思わない

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

15. 節分についておたずねします。

①豆まきの意味を伝え、鬼の面を作り、みんなで豆まきをした後、元気に過ごせるように願って豆をいただきました。ご存じでしたか。

A 知っていた

B だいたい知っていた

C あまり知らなかった

D まったく知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

②家庭で節分を意識して過ごされましたか。

A 意識して過ごした

B まあまあ意識して過ごした

C あまり意識して過ごさなかった

D 意識して過ごさなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

16. ひなまつりについておたずねします。

①ひなまつりの意味を伝え、おひなさまの制作を行い、段飾りを飾っているホールでひなまつりの集会を行いました。ご存じでしたか。

A 知っていた

B だいたい知っていた

C あまり知らなかった

D 知らなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

②家庭で桃の節句を意識して過ごされましたか。

A 意識して過ごした

B まあまあ意識して過ごした

C あまり意識して過ごさなかった

D 意識して過ごさなかった

CまたはDと答えた方はその理由をお書きください。

( )

< \*お誕生日のお祝いについて >

① ひとり一人の生まれた日を大切に考え（誕生日当日、園がお休みの場合は出来るだけ近い日を選んで）お祝いをしています。みんなに祝福を受けたお祝いをしてもらっていると感じましたか。

A 感じた

B まあまあ感じた

C あまり感じなかった

D 感じなかった

C、Dと答えた方はその理由をお書きください

( )

② お子さんの成長を振り返る機会となりましたか。

A 振り返る機会となった

B まあまあ振り返る機会となった

C あまり振り返る機会とならなかった

D 振り返る機会とならなかった

C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

③ 年中、年長児の保護者の方におたずねします。

誕生日へのプレゼントは素朴でささやかな物ですが、友だちのお誕生日を祝うという思いで作っています。持ち帰ったプレゼントをお子さんと一緒にご覧になり、どのように思われましたか。

- A 嬉しいと思った
- B まあまあ嬉しいと思った
- C あまり嬉しいと思わなかった
- D 嬉しいと思わなかった

C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

- ④ 幼稚園のお祝いに参加されて、家庭でのお祝いの持ち方やお子さんへのプレゼントのことを考えるようになりましたか。

- A 考えるようになった
- B 少し考えるようになった
- C あまり変わらない
- D 変わらない

C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

以 上